

SUMITOMO

拠点所在地



住友建機 リサイクル紀行

Vol.31 東興産業(新潟県)

新潟県西部に位置する直江津は、706年に国府が置かれると越後政治の中心地として栄えたエリアだ。1971年に高田市と合併したことで直江津市は上越市に変わったが、現在も町家形式の家並みなど古の風情を残している。新潟・長野・富山を結ぶ交通の拠点でもあり、周辺で発生したスクラップの多くはここを通過して需要家へと運ばれる。この地で金属リサイクル業を営む東興産業(本社||新潟県上越市、前山仁社長)を訪れた。

人と組織に多彩な「強み」

会社設立4年余りで急成長

2018年設立の東興産業は、4年余りの短期間で月間8000ト(鉄スクラップ6000ト、非鉄スクラップ2000ト)を取り扱う地元の有力企業へと急成長した。油圧シャーによる切断やガス切りなどでスクラップの加工を行う本社工場と、海上輸送拠点の直江津ヤードの2拠点を構えている。集荷するスク

ラップは域内で発生したものを中心に、直江津地区の交通網を生かして長野や富山など隣県からも購入している。東興産業の強みは地の利だけではない。常務取締役の五十嵐直人氏は同社の特徴を「色がある会社」と話す。その多彩な色は同社のヤードを見て伺うことができる。本社工場を入り、まず目に



本社工場(左側がガス切りエリア)

留まるのが台貫横のガス切り作業エリアだ。まさに会社の顔ともなっているガス切り加工は、6名の職人が母材の形状に合わせて適切な歯入れを行いながら、処理困難物をスクラップへと変えている。ガス前材は常時10000〜20000ト規模のストックがあり、同社の主力事業の1つとして扱っている。

工場内に進むと鉄やステンレス、銅やアルミといった非鉄など、様々なスクラップが並んでいる。営業メンバーには鉄に強い営業、非鉄に強い営業など人によって得意とする商材が異なり、それぞれが集荷したスクラップが加工拠点の本社工場に集まる。鉄スクラップは、切断圧10000トの油圧シャーを用いて炉前サイズに加工を行い、国内外に出荷している。

このほか、事務職員による丁寧な顧客対応や清潔感がある事務所も同社における営業面での大きな武器となっている。湾岸集荷拠点の直江津ヤードに積載する鉄スクラップは、品種や品質ごとに分別保管している。こうしたことで荷役効率が高まり、様々なニーズに迅速に対応できるという。販売チャンネルの多さも強みだ。直江津港からは、バルク船やコンテナを用いて幅広い需要国へとスクラップの輸出入を行う。鉄スクラップは国内相場の上昇を受けて、国内電気炉メーカーへの販売にも注力しているという。こうした一人ひとりの強みや運営スタイルが組織の色となり、事業規模の着実な拡大につながっている。

上越地区のリサイクル強化へ 同業者とも協調する企業に

敷地面積3000坪を有する本社工場では、隣接する2500坪の用地を新たに取得した。現在のヤード機能を拡張するかたちで取引量の増加に対応していく方針だ。事業スタイルは時代に応じて変化させている。国内の金属資源循環は2010年代後

半に中国向けの雑品販売事業が終焉を迎え、処理の在り方が大きく変化した。東興産業でも設備投資や営業面の強化を図り、国内における資源循環の促進を図っている。しかしながら、リサイクルの事業環境は安定する局面が無く、変化も加速している。

地域で発生する不用品のリサイクルなど「これまでの事業形態にとられない仕組みづくりも必要になってくる」(五十嵐常務)という。地域や時代の要請をいち早く捉えながら、将来的にはリサイクルに関わる新たな領域への進出も視野に入れている。地域に根差す上では、同業者と良好な関係性を持ち続けることも大きなポイントという。現在でもガス切り加工や貿易事業といった東興産業が強みとする機能を他社に共有する一方で、自社で集荷したスクラップの処理を依頼することもある。五十嵐常務は「上越地区のリサイクル企業が協調しながら業界全体で強くなっていくことが理想。当社も同業の方から必要とされる企業でありたい」と話す。



五十嵐直人常務取締役

循環型社会の中心にあるリサイクル事業者として、今後は取引量や拠点数の拡大にとどまらず、廃棄物の減容や

～住友建機がある風景～



SH250-7MP: 東興産業で稼働する住友建機製マシン(本社工場)は、非鉄スクラップを扱う小型のものから、油圧シャーにスクラップを投入する中型機、船積み用の大型機などラインアップも幅広い。

「全ての要素」が揃う機械

組織や人に強みがあるように、機械やそれを提供するメーカー、営業担当にもそれぞれに強みがある。東興産業の五十嵐直人常務は、住友建機について「オペレーターが乗りたいと思う機械性能、作業効率、営業やサービススタッフの強さなど、全ての要素が揃っている」と評価する。

住友建機との付き合いは、10年以上の歴史がある。前山社長が理事長を務める『長野県輸出スクラップ事業協同組合(長野県塩尻市)』が直江津港でスクラップの輸出事業を開始した2000年代後半に、荷役クレーンのメンテナンスやアタッチメントの販売を住友建機が担ったことがき



SH200LC-7EC(本社工場)

かけだった。

2018年の東興産業設立後は、荷役機の導入が本格的に進み、現在は本社工場と直江津ヤードで計5機の住友建機製マシンが稼働している。2023年7月以降には新たに4機のマシン(SH250-7MPが2機、SH200LC-7EC、SH135X-7)が加わる予定だ。



SH330LC-7MH(直江津ヤード)

担当: 日高 政治

上越営業所は少人数の拠点ではありますが、営業、サービス、事務の所員が一丸となってお客さま満足度の向上に努めてまいります。



住友建機販売株式会社 上越営業所
〒942-0041 新潟県上越市安江301-4
Tel: 050-9001-9713 Fax: 025-544-2792